

学び・くらしをはぐくむための連携指導計画（八代市七中校区連携カリキュラム）

		就 学 前				小 学 校			中 学 校
		0～2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	低 学 年	中 学 年	高 学 年	
目指す子ども像		健康的な生活リズムを身につけ連続性のある学びを育む子ども							
子どもたちの実態		何にでも興味を示し、さわったりなめたりする。語彙が増え言葉で意思表示をしようとする。 身近な大人との関わりを通して、徐々に簡単な身のまわりのことができるようになる。	社会性が芽生え、友達と遊ぶようになる。言葉の発達が著しくなる。 身の回りのことを自分でしようとする。保護者の生活習慣に合わせて、遅くまで起きている子供がいる。	友達と喜んで遊ぶようになる。周りの人や物に関心を持ち、遊びを広げ始める。言葉が豊かになる。 保護者の生活習慣に合わせ、遅くまで起きている子どもがいる。	数人の友達と楽しく協力したり、工夫したりして遊ぶようになる。興味を持ったことは集中して取り組もうとする。 小学校入学を意識して、早寝早起きをしようとする子どもがいる。	自己中心的ではあるが、周囲との関わりができてきている。善悪を判断し、自立的な生活ができるようになってくる。 早寝早起きは理解しているが、テレビやゲームに夢中になり、遅くまで起きている子どももいる。	友達と積極的に関わろうとしている。集団の中で関わりができてくる。自分のことを見つめ、向上心が強くなっていく。 早寝早起きは理解しているが、テレビやゲームに夢中になり、遅くまで起きている子どももいる。	協調性が増す一方、他者の評価を気にするようになる。責任感をもって低学年の面倒をよく見るようになる。周囲の気持ちを理解し、思いやることができるようになってくる。 早寝早起きは理解しているが、テレビやゲームに夢中になり、遅くまで起きている子どももいる。	素直でまじめな生徒が多いが、自主的な活動が苦手である。 決まった時間に学習ができない生徒がいる。遅くまで起きていて、決まった時間の就寝・起床ができていない生徒も見られる。
発達に 応 じ た ね ら い	睡 眠	安定した環境の中で、十分な睡眠を取ることができる。	大人の働きかけで、早寝早起きをしようとする。	大人の働きかけで、早寝早起きをしようとする。	自分から決まった時刻に就寝起床しようとする。	家族と相談して就寝・起床の時刻を決め、進んで実践する。	決まった時間に学習する。自分から決まった時刻に就寝・起床する。	自分で寝る時刻、起きる時刻を決め実施する。家庭学習は毎日決めた時間学習する。	時間の使い方を工夫し、十分な休養・睡眠・学習の時間を確保する。
	あいさつ	喃語や片言を優しく受け止めてもらい、発語や大人とのやりとりを楽しむ。	あいさつや返事など生活や遊びに必要な言葉を使う。	日常生活に必要なあいさつをする。自分の思ったことをことばで伝えようとする。	園の友達や先生に、親しみを持って日常のあいさつをする。	家族や先生や周囲の身近な人にあいさつする。	家族や先生や地域の人に自分から進んであいさつする。	時と場にあったあいさつや会釈をする。	時と場にあった気持ちのよいあいさつや会釈をする。
	話す聞く (コミュニケーション力)	喃語や片言を優しく受け止めてもらい、発語や大人とのやりとりを楽しむ。	あいさつや返事など生活に必要な言葉を使う。	簡単な話の内容を理解して、聞こうとする。	人の話を注意して聞き、自分の思ったことや考えたことを相手にもわかるように話す。	丁寧な言葉遣いをする。相手の話を相づちを打ちながら聞くことができる。	相手を見て丁寧で的確な話ができる。相手の目を見て話を聞き、自分の意見を持つ。	礼儀正しい態度や言葉遣いで接する。相手の話をよく聞き、自分の意見をまとめ、表現することができる。	状況や相手に応じた話し方ができる。相手の立場に立って聞いたり、思いを伝えたりすることができる。
	読 書	絵本に興味を持つ。	絵本の読み聞かせを聞き、楽しむ。	絵本の読み聞かせを集中して聞き、楽しむ。	絵本の読み聞かせを集中して聞き、楽しむ。文字に興味を持ち、自分で読んでみようとする。	読み聞かせなどを集中して聞くことができる。絵本に親しみたくさんの本を読もうとする。	物語や絵本などを積極的に読もうとする。	歴史、物語など様々なジャンルの本に親しみ多くの本を読もうとする。	様々なジャンルの読書に親しみ、広くテーマを求めて読もうとする。
勤労観 職業観	大人と一緒に水、砂、土、紙などの素材にふれて楽しむ。 大人の適切な助言によって自分のものや遊具、玩具の置き場所がわかる。	園の行事に参加して、喜んだり楽しんだりする。遊んだ後の片付けをするようになる。 大人の手伝いをするのを喜ぶ。	手伝ったり人に親切にされたりすることを喜ぶ。 身近な大人の仕事や生活に興味を持ったり、それらを取り入れたりして遊ぶ。	係や当番活動に進んで取り組もうとする。 身近にいる大人が仕事をしている姿を見て、自ら進んで手伝いをしようとする。身近で働く人々の仕事に興味を持つ。	係や当番の活動に取り組み、それらの大切さが分かる。 家の手伝いや割り当てられた仕事や役割の必要性が分かる。身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心をを持つ。	自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり抜こうとする。 いろんな職業や生き方があることがわかり、将来の夢や希望を持つ。	社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。 あこがれの職業を持ち、今しなければならないことを考える。	施設・職場見学などを通し、働くことの大切や苦労がわかる。 将来の夢や希望を持ち、実現を目指して努力しようとする。	
具体活動	園小中学校	使った玩具や身の回りのものを保育者と一緒に楽しみながら片付けることができる。	保育者に促してもらい友達に協力して片付けができる。保育者に雑巾を絞ってもらいまねをしながらそうじに取り組む。	自分達から進んで片付けることができる。周りの友達と協力して片付けることを喜ぶ。自分で雑巾を絞り、床ふきや窓ふきができる。	自分達から進んで片付けることができる。また、小さなお友達の片付けのお手伝いを進んでする。自分で進んで雑巾を絞り、床窓ふきができる。	三点固定運動の推進。 ふれあい読書。 野菜作り。 田植え、稲刈り。	三点固定運動の推進。 ふれあい読書。 田植え、稲刈り。	三点固定運動の推進。 ふれあい読書。 田植え、稲刈り。	三点固定運動の推進。 日常的に「開拓魂」(生活ノート)を活用する。 保育体験。
	家 庭	家族と一緒に片付けを楽しみ、がんばって片付ける。 毎日朝食を摂る。	家族と一緒に手伝うことを見つけ、取り組もうとする。 毎日朝食を摂る。	自ら家族に手伝うことを伝え、進んで取り組む。 毎日朝食を摂る。	自ら家族に手伝うことを伝え、進んで取り組む。 毎日朝食を摂る。	親子でふれあい読書をしたり、三点固定運動、生活カード(保健)などをいっしょに取り組む。	親子でふれあい読書をしたり、三点固定運動、生活カード(保健)などをいっしょに取り組む。	読書活動、三点固定運動、生活カード(保健)、いろいろな行事や活動を通して、自ら学ぶ意欲を持つよう話したり、励ましたりする。	「健康7ヶ条」を推進し、家族一緒になって取り組む。 朝食・早寝・早起き・学習運動・体や歯の健康・趣味
		寝る時刻、起きる時刻(二点固定運動) + 朝ご飯 + ノーメディアデー の取組				寝る時刻、起きる時刻、学習開始時刻(三点固定運動) + 朝ご飯 + ノーメディアデー + 歯 の取組			
人権を大切に する心		身近な大人に信頼感を持ち、情緒を安定させる。	友達との遊びの楽しさを感じる。	身の回りのひとにいたわりや思いやりの気持ちを持つ。	友達への思いやりを深め、一緒に喜んだり悲しんだりする。	相手の気持ちを考え、いろいろな人と仲良くしようとする。	相手の気持ちを考え、いろいろな人と仲良く活動しようとする。	場の雰囲気を考え、互いに思いやりの心を持って接する。	相手の立場に立って考えを深め、思いやりを持って接していく。